

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 国民文化祭開催準備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局 文化祭推進事務局 文化祭総務企画課 総務係 電話番号：058-272-1111(内3166)

E-mail：c11152@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 921,593 千円 (前年度予算額： 179,984 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	179,984	0	0	0	0	0	0	0	179,984
要求額	921,593	0	0	0	0	0	205,000	0	716,593
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和6年度、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する場である「国民文化祭」を本県で開催する。(国民文化祭)と「全国障害者芸術・文化祭」とをあわせて、「清流の国ぎふ」文化祭2024として開催)

令和6年度は、大会に向けた準備及び大会の開催を通じて、本県が誇る地域資源やそれを支える県民の取組みを国内外に広く発信するとともに、新たな交流によって新たな魅力を見出し、アフター・コロナ時代の創造につなげていく。

(2) 事業内容

「清流の国ぎふ」文化祭2024のための準備及び大会の開催

- ・開・閉会式(式典、オープニングステージ等)
- ・県実行委員会主催事業
- ・機運醸成のための広報の推進
- ・県民運動の実施(清流文化地域推し活動、#わたしの清流文化プロジェクト等)
- ・市町村・文化団体事業に係る経費の補助

(3) 県負担・補助率の考え方

国民文化祭は、県の文化振興の主要プロジェクトとして岐阜県が実施するため、県10/10が妥当。(県と同様に主催者である文化庁委託金に相当する経費負担は財源内訳「その他」で収入)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	3,902	大会準備及び開催に係る旅費
需用費	13,335	事務消耗品等
役員費	1,008	通信運搬費
委託料	72,648	文化祭広報に係る業務委託
使用料及び賃借料	240	公用車ETC等
負担金、補助及び交付金	830,360	「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会負担金
公課費	100	収入印紙
合計	921,593	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○清流の国ぎふ創生総合戦略

[3 地域にあふれる魅力と活力づくり] - [(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信] - [①「清流の国ぎふ」の文化・芸術の創造・伝承・発信]

(2) 国・他県の状況

- ・R4(2022)年度開催：沖縄県
- ・R5(2023)年度開催：石川県
- ・R6(2024)年度開催：岐阜県
- ・R7(2025)年度開催：長崎県

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

国民文化祭の主催者は、開催都道府県及び文化庁等

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度に本県で国民文化祭を開催することによって、県民の文化芸術活動への参加意欲を喚起し、誰もが文化芸術に親しむ機会を創出する。

また、本県が誇る文化芸術をさらに磨き上げ、発展、発信していくとともに、将来にわたって伝承していくための契機とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

事業終期時点での指標設定は困難

※参考：清流の国ぎふ創生総合戦略での位置づけ

[KPI]文化芸術の創作活動への関心(2027年度):51.6% (2022年度:42.4%)

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>令和2年11月の内定後、市町村連携会議を開催するとともに、市町村に対して事業の実施意向調査等を行った。</p> <p>※準備事業のため指標に基づく成果の記載は困難。</p>
	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>基本構想検討会議を立ち上げ、基本構想案を策定した。また、大会の実施・運営にあたっての知見等を蓄積するため、先催県の視察・調査を行うとともに、文化団体との意見交換を実施した。</p> <p>※準備事業のため指標に基づく成果の記載は困難。</p>
	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>7月に県実行委員会を設立した。また、ロゴマーク、テーマソング等を決定したほか、日比野克彦県美術館館長・東京藝術大学学長に総合プロデューサーを委嘱した。また、主催別に事業体系を整理した実施計画（案）を策定したほか、文化団体及び市町村の意向も確認しながら、市町村事業の調整も進めた。</p> <p>※準備事業のため指標に基づく成果の記載は困難。</p>
	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>コロナ禍により、様々な文化芸術活動が制約されてきた中、文化芸術に接する機会を積極的に創出し、アフター・コロナ時代の新たな未来の創造につなげていく必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会開催を広く周知するとともに、大会に向けて県民一丸となって機運醸成を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大会に向けて「オール岐阜」体制で取り組むことで、県民の文化芸術活動を継続・発展させ、清流がもたらした自然、歴史、伝統、技、文化などあらためて知り学び、本県の魅力を発信していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	